

# 一般質問発言通告書

発言順位	5 番
------	-----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 9月 5日

三島市議会議員 堀江 和雄 様

三島市議会議員 14 番 古長谷 稔

質問事項 1	伊豆ファン倶楽部の再構築と持続可能性について
具体的内容	伊豆ファン倶楽部は令和5年度にスタートし、現在3年目の半ばを迎えている。加盟店舗 350 件、既存会員約 2,500 人という規模まで広がってはいるものの、利用実態としてポイント付与は伸び悩み、利用頻度は半数以上の会員が数回程度という低調な状況が続いている。一方、SNS プロモーションによりホームページ閲覧数は約 3 倍に増加するなど一定の効果も見られている。しかしながら、DNP データ連携基盤やマイナンバーを活用したデータ活用などによる広域連携、将来的な官民連携 DAO の可能性も視野に入れた場合、この辺りでストーリーを再構築しなければ、他市との合意形成、継続は困難となる印象がある。ここで改めて、持続可能な仕組みを目指すため、今後の改善・広域展開・財政自立への道筋を探るべく、市の現状判断と具体策について、以下、順次伺う。
	1 利用実態と低利用構造の原因分析及び改善見通し
	2 SNS 施策等の PR の効果と次なるプロモーション展開の見通し
	3 これまでの店舗へのデータ還元と今後の魅力向上に向けた計画について
	4 アプリ継続による費用負担と終了方針の選択可否、別の方法への移行可能性について
	5 広域連携の方針維持とさらなる連携拡大展開への協議体制と工程表
	6 財政的自立へ向けた自立可能な収支構造の設計見通し及び今後のストーリー再構築について
	7 他市も含めて議会・市民に対する、再構築に向けた説明責任について
質問事項 2	高齢者が自宅担保で負担なく耐震化可能な取り組みについて
具体的内容	能登半島地震、南海トラフ巨大地震臨時情報等を機に、改めて老朽住宅の耐震化に関心が高まる中で、三島市では2025年9月1日から、高齢者が自宅を担保に耐震補強工事を、実質的な費用負担なく実施できる「リバース 60」を活用した利子補給制度を導入し、県内初の取り組みとして注目を集めている。併せて補助金制度とも連動しているので、これまで経済的に耐震化を諦めていた高齢世帯にも、耐震化するきっかけとなる施策と考える。しかしながら、土地・建物を担保にすることへの心理的抵抗感、相続人との調整、広報不足による認知度の低さなど、課題は山積している。さらに、県補助の今後や市予算確保の不透明さ、空き家政策との連動不足も指摘されている。高齢独居世帯などなかなか耐震化を進められなかった世帯の耐震化が大幅に進めば、三島市の防災力向上に直結する制度と言える。制度の実態を踏まえて、今後の広報強化の方針、利用促進策など長期的な政策の方向性を伺う。
	1 制度導入の背景・経過、取り組みの概要と特徴、運用への課題、改善策について
	2 広報・周知が大切、強化する戦略について
	3 終了予定とされる県の「東海ゼロ」事業補助金制度と財源確保の見通しについて
	4 空き家政策との整合性と、今後の目標設定と進捗管理について